

事業名	つながりサポート事業				
事業の趣旨・目的	問題を抱えているが、どこに相談してよいかわからない人や孤立している人たちが、安心して利用できる居場所を提供することで、社会へのつながりを回復し次のステップへ進むことができるようサポートすることを目的とする。また、ケースによっては相談機関や関係団体の支援につなげる。 ・経済的な自立・安定 就業を希望する女性のために、ハローワークと連携し、出張個別相談を行うための周知や場所の提供を行い就労へつなげる。 ・表面化していない問題の掘り起こし 本事業の受託者（大村市母子寡婦福祉連合会）の独自ネットワークを利用して、ひとり親家庭への定期的な訪問や生理用品の配付、開所施設の周知を図り、表面化していない問題を掘り起こす。 電話や窓口での相談が日常的に困難な人で相談につながっていないケースに対応するため、行政だけでは行き届かない細やかな対応ができるようSNSやメール等の会話（相談）ができるツールを使い必要な支援へとつなげる。 ・利用者の高齢化 ピアサポートを利用し社会とつながることで、孤独感や孤立を防ぐ。 若い世代とのギャップに悩む女性に、昔と今の考え方や生活スタイルの変化を学ぶ機会を設け、世代間の理解を深める。 ・若年層の利用に向けた取り組み 若年層向けに学校のトイレや保健室に開所施設で生理用品を受取れる「生理用品交換チケット」を設置し、本事業の周知と開設施設への来所を促す。				
事業目標・重要業績評価指標（KPI）		目標・KPI		目標値（時点）	現状値（時点）
	令和12年度まで（第6次男女共同参画基本計画期間中）の中長期目標	配偶者等からの暴力の相談窓口を知っている人の女性の割合	（アウトカム）	60% （R8）	29% （R7）
	事業目標（全体）	つながりサポート事業の利用者数	（アウトプット）	3,000人 （R8）	3,227人 （R8.1月末現在）
	事業KPI（全体）	ピアサポートを利用した延べ人数	（アウトプット）	840人 （R8）	
事業内容	【継続する取り組み】 ・女性同士が互いに情報交換したり支えあうことのできるピアサポートを開催。 ・他の行政機関やNPO等関係団体の支援窓口へ同行するなど、連携した支援。 ・他の行政機関や団体に呼びかけ合同相談会を実施する。 ・市町村が主催する催しに参加し、本事業の周知を図る。 ・相談等の一環として、生理用品の提供。 ・SNS等を活用した相談支援。 ・ハローワークと連携した定期的な就労サポート。 ・スタッフのエンパワーメントやスキルアップ研修 【R8年度から加える新たな取り組み】 ・受託者（大村市母子寡婦福祉連合会）の独自のネットワークを利用し、ひとり親世帯へ定期的な訪問や、生理用品及び生活必需品の配付を行うとともに、本事業で開設した施設の周知を図り、困りごとや問題の掘り起こしを行う。 ・市内の中学校及び高等学校と連携し、トイレや保健室に、本事業の開所施設で生理用品を受取れる「生理用品交換チケット」を設置する。若年層へ事業の周知を図るとともに、生理の貧困やその背景の問題の掘り起こしを行う。				
事業の実施により期待される効果	・困難な状況にありながら、支援につながっていない女性に必要な支援へとつなげる。 ・ピアサポートを活用することにより社会へのつながりを回復し、自分の経験や知識を他の人のために役立てることで自己肯定感を高め、社会活動への参加や就業へとつながる。 ・ひとり親家庭への定期的な訪問、生理用品等の配付により、事業の周知を図り、問題を抱えた女性を掘り起こし支援につなげることができる。 ・学生への生理用品交換チケット配布により、本事業及び開所施設が周知されるとともに、生理の貧困とその背景にある問題への支援につながる。				
事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	本事業の利用記録をもとに、支援につながった事例や利用者の年齢層を把握し、取り組みの効果を検証する。継続・拡充する取り組み、見直しが必要な取り組みを選別し、見直しが必要な取り組みについて課題を整理し今後の方針を検討する。利用者の声を聞き取りながら、他の相談機関や関係団体の実施する支援策を検証し、課題を整理する。				